

主催
京都大学東アジア経済研究センター

共催
東京大学ものづくり経営研究センター
東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点
京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター

後援
京都大学東アジア経済研究センター協力会

アジア自動車シンポジウム
インドネシアは自動車大国になれるか
—オートバイユーザーが自動車購入者に転換するプロセスを探る—

- 京都会場 2012年11月3日(土) 13時
京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール
- 東京会場 2012年12月1日(土) 13時
京都大学東京オフィス(品川インターシティA棟)

総合司会
13:00-13:10

挨拶 京都大学大学院経済学研究科長 植田和弘
東京大学社会科学研究所教授 田島俊雄新

13:10-13:50

京都大学大学院経済学研究科 教授 塩地 洋

インドネシアは自動車大国になれるか
—全体テーマと報告構成—

第1部 オートバイユーザーから自動車購入者へのプロセス

13:50-14:15

龍谷大学経済学部 教授

大原 盛樹

中国の経験からオートバイから自動車へのプロセスを探る

14:15-14:40

住友商事 自動車米州アジア部

木村 将裕

販売金融事業者から見た自動車購入層拡大の可能性

第2部 自動車大国を支える生産・流通基盤

15:00-15:30

鹿児島県立短期大学 教授

野村 俊郎

トヨタにおけるモノづくり
—セット・パーツ・サプライを中心に—

15:30-16:55

ジャパン・バイク・オークション 社長 西村 竜

オークション会社から見た中古車流通

16:55-16:25

IHS オートモーティブ バンコク事務所代表 山本 肇

グリーンカー政策と日系自動車メーカーの戦略

16:25-16:50

元アストラ・モーターズ 副社長

藤井 真治

インドネシア自動車市場の過去、現在と未来の展望

16:50-16:55

閉会挨拶

17:10-18:50

懇親会 参加費 2000円、協力会会員は無料

司会 京都大学経済学部特任教授/東アジア経済研究センター協力会理事 宇野輝

開会挨拶 京都大学東アジア経済研究センター長/京都大学経済学部准教授 矢野剛

閉会挨拶 京都大学東アジア経済研究センター協力会副会長/京都大学経済学部名誉フェロー 大森経徳

御申込みは、塩地 shioji@econ.kyoto-u.ac.jp まで会場名、氏名・所属、懇親会出欠を御連絡ください。(FAX:075-753-3492)
東京会場は定員 100名、京都会場定員 500名です。